

中学生向けフリースクール「ベネッセ高等学院 中等部」、 2026年7月7日（火）より小学6年生の受け入れを開始 小学6年生～中学3年生の入会金廃止・初月授業料無料化を同時スタート

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：岩瀬大輔、以下：ベネッセ）が運営する、中学生向けフリースクール「ベネッセ高等学院 中等部」は、2026年7月7日（火）より小学6年生の受け入れを開始します。不登校児童生徒の低年齢化に伴い、中学進学を前に学習や進路への不安を抱える家庭が増えるなか、これまで中学生を対象に提供してきた学習支援や進路相談、安心・安全な家庭・学校以外の居場所づくりを小学6年生にも拡大して支援します。

また、ご家庭でフリースクールの利用をためらう心理的障壁の一つになっていた費用面の負担を少しでも軽減できるよう、小学6年生～中学3年生を対象に入会金（5万円）を廃止、初月授業料を無料にする「はじめて応援 1か月無料制度」を併せて開始します。



7月7日より!

ベネッセ高等学院 中等部

小学6年生受け入れ開始

※開校は10月です、募集定員があります。

**はじめて応援
1か月無料制度
スタート!**

入会金・初月授業料 無料

事業者：ベネッセコーポレーション

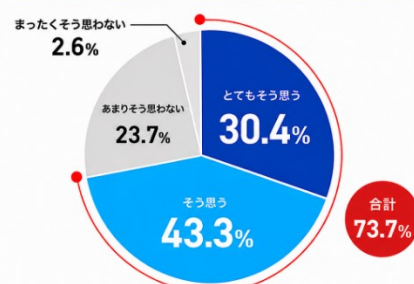
■小学6年生受け入れ開始の背景

近年、不登校児童生徒数は増加傾向にあり、小学生段階から学校に行きづらさを抱える子どもも増えています。特に中学校への進学は大きな環境変化を伴うことから、子どもや保護者にとって将来への不安が高まりやすい時期です。


ベネッセが2026年6月に実施した調査では、**不登校・行き渋り傾向のある小学6年生の保護者の約9割が中学進学に不安を感じている**ことが明らかになりました。また、不安の内容としては「学校の勉強についていけるか」が最も多く、「クラスメイトとの人間関係をうまく築けるか」も上位に挙がりました。さらに、**現在中学1～3年生で、小学6年時に不登校または行き渋り傾向があった子どもの保護者の約7割が、「小学6年生の段階から中学進学に向けた相談や情報収集を始めていた方が良かった」と回答**しています。一方で、情報収集の中では、フリースクールの利用を検討した家庭では、費用面が利用をためらう要因の一つとなっていました。

Q. 小学6年生の段階から中学進学に向けた相談や情報収集を始めていた方が良かったと思いますか？

単一回答



n=545
現在中学1～3年生で、小学6年生時に不登校または行き渋り傾向があった子どもの保護者

 ベネッセ高等学院
ベネッセ高等学院 中等部

こうした状況を踏まえ、「ベネッセ高等学院 中等部」では、小学 6 年生から利用できる学習支援や進路相談、居場所づくりの機会を提供し、中学進学前から一人ひとりに合った学び方や進路選択を支援します。

■小学 6 年生の受け入れ概要

2026 年 7 月 7 日より、小学 6 年生の受け入れを開始します（利用開始は同年 10 月）。対象は、不登校や登校に不安のある小学 6 年生で、在籍小学校に籍を置いたまま、通学またはオンラインで学ぶことができます。お子さまの状況に合わせて、キャンパス通学与自宅オンラインを選択でき、専用教材と一人ひとりに合わせた「MY 時間割」を活用しながら、5 教科の学習支援を実施。小 1 内容までさかのぼれる基礎学習や、生活リズムの改善、安心できる居場所づくりもサポートします。さらに、ICT 等を活用した学習活動について、在籍校での「出席扱い制度」申請に向けた記載サポートも無料で行います。

受け入れの概要：<https://gakuin.benesse.co.jp/admission/chu/>

■小学 6 年生～中学 3 年生の入会金および初月授業料を無料化「はじめて応援 1 か月無料制度」

これまで設定していた入会金 5 万円と初月授業料を無料*とすることで、ご家庭のはじめてみたい気持ちを後押しする、「はじめて応援 1 か月無料制度」を開始します。近年、不登校や登校に不安のあるお子さまの学びの選択肢としてフリースクールへの認知や利用検討は広がる一方、費用面の不安から利用に踏み出せないご家庭も少なくありません。本制度では、まず 1 か月、通学またはオンラインで学びの場を体験いただくことで、学校復帰のきっかけづくりや、お子さまに合う学び方・居場所を見つける機会を提供します。

*初月授業料無料は初回のみ適用されます。過去に適用された方は適用外になります。

■ベネッセ高等学院・中等部 学院長 上木原 孝伸（かみきはら たかのぶ）コメント

「ベネッセ高等学院 中等部」を昨年 10 月に開校して以来、「もっと早く出会いたかった」という嬉しい声をいただけてきました。一方で、入学前のご相談では、「小学 6 年生はまだ通えませんか」「通えるかわからないので、お試しできませんか」といったご相談もよくいただきました。

今春、新中 1 生が通い始めました。中学進学という大きな変化に新しい場所への通学が重なると、子どもの負担は小さくありません。小 6 から少しずつ準備することの大切さを痛感しました。また、慣れるにも時間がかかります。数回の体験では良さは伝わりきりませんし、続くか不安なご家庭には、入会金も大きな壁でした。そこでこの夏、小 6 の受け入れを始めるとともに「はじめて応援 1 か月無料制度」として入会金と初月授業料を無料としました。短いお試しではなく、1 か月をまるごと伴走していきたいからです。「もっと早く出会いたかった」が「早く出会えて良かった」に変わることを願っています。



■「ベネッセ高等学院」および「ベネッセ高等学院 中等部」について

多様化する学びのニーズに応えるためにベネッセが 2025 年から取り組みを開始しました。高校生を対象とした通信制サポート校「ベネッセ高等学院」と、中学生を対象としたフリースクール「ベネッセ高等学院 中等部」の 2 つのプログラムを提供しています。生徒には、ベネッセがこれまで培ってきた教育サービスのノウハウを活用し、担任やメンターによるサポート体制のもと、日々の学習や将来の進路について支援します。

「ベネッセ高等学院」および「ベネッセ高等学院 中等部」では、本事業を通じて、学びの多様性に対応し、子どもたち一人ひとりが自分らしい学びの場と学び方を選び取り、将来の可能性を大きく広げていくことを支援してまいります。

【「ベネッセ高等学院 中等部」拠点体制】

2026 年 7 月時点の 29 キャンパスに加え、2027 年 4 月にさらに 31 キャンパスを新設します。拠点を増やすことで、通いやすさや生徒一人ひとりのフォロー体制を強化し、「まなびのサードプレイス」としての利便性を高めます。

都道府県	2026年7月時点のキャンパス (計 29)	2027年4月新設のキャンパス (計 31)
東京都	亀有、豊洲、三軒茶屋、水道橋、北千住、池袋西口、錦糸町、大泉学園、武蔵境、立川、町田、調布北口、八王子、府中	秋葉原、三田、高田馬場、四谷、大井町、旗の台、目黒、自由が丘、下北沢、成城コルティ、千歳烏山、二子玉川、広尾、荻窪、赤羽、王子、日暮里、成増、練馬、西新井、青砥、新小岩、吉祥寺駅前、多摩センター
埼玉県	大宮、浦和	
千葉県	船橋、流山おおたかの森	
神奈川県	横浜、たまプラーザ、上大岡、川崎、新百合ヶ丘、辻堂	大船、武蔵小杉
愛知県	名駅 桜通口	
大阪府	梅田、天王寺、千里中央	上本町、高槻、豊中
兵庫県	三宮	西宮北口
福岡県		福岡市

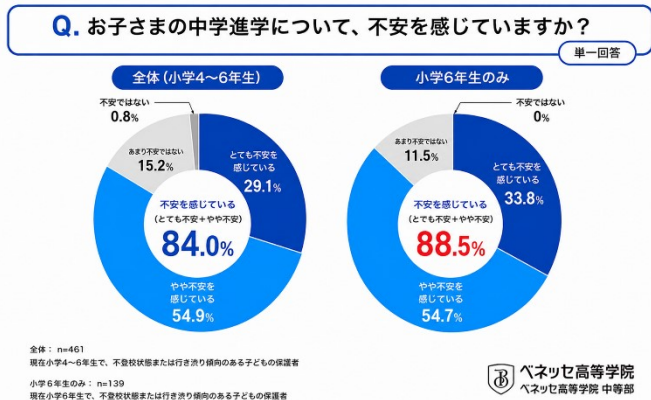
【関連情報】

- ベネッセ高等学院 Web サイト：<https://gakuin.benesse.co.jp/>
- ベネッセ高等学院 中等部 Web サイト：<https://gakuin.benesse.co.jp/chu>
- X アカウント：<https://x.com/begakuin0417>

■ 参考情報 中学進学へ向けた不登校・行き渋りに関する調査

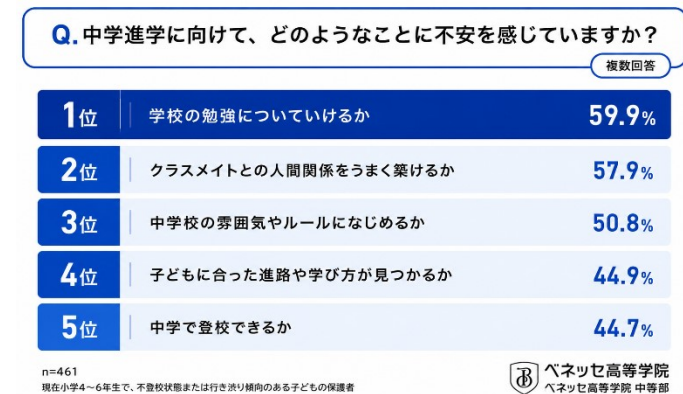
1) 不登校・行き渋り傾向のある小学6年生の約9割が中学進学に不安

不登校・行き渋り傾向のある小学4～6年生の保護者に、お子さまの中学進学について不安を感じているかを聞いたところ、84.0%が「不安を感じている」と回答しました。小学6年生に限ると88.5%にのぼり、進学を目前に控えた時期には、不安を感じる家庭がより多いことがわかりました。



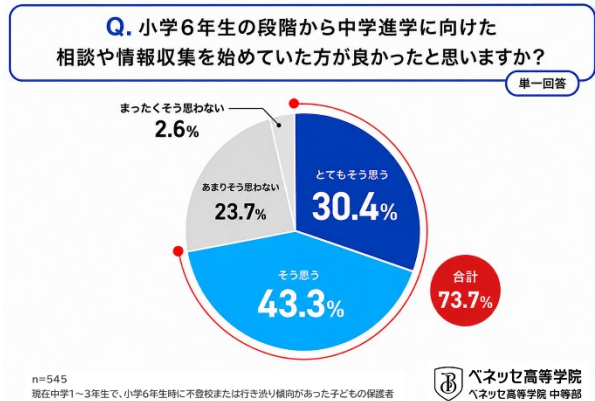
2) 不安の内容は「学習」や「人間関係」、「学校生活に関する悩み」

不登校・行き渋り傾向のある小学4～6年生の保護者に、中学進学に向けてどのようなことに不安を感じているかを聞いたところ、「学校の勉強についていけるか (59.9%)」が最も多く、次いで「クラスメイトとの人間関係をうまく築けるか (57.9%)」が続きました。進学を前に、学習面への不安に加え、新しい環境での人間関係への不安が大きいことがわかりました。



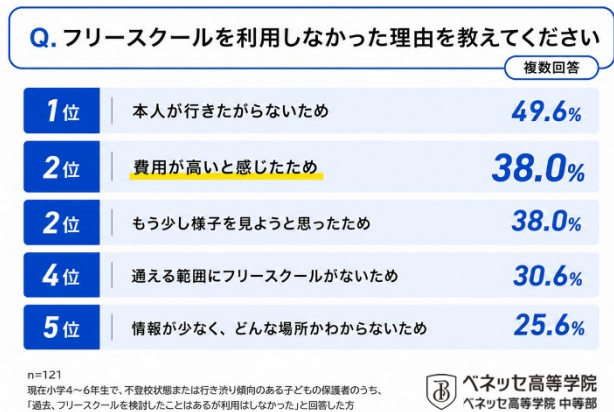
3) 小6時に不登校・行き渋りを経験した現中学生の保護者の約7割が「小6から相談や情報収集を始めた方が良かった」と回答

現在中学1～3年生で、小学6年生時に不登校または行き渋り傾向があった子どもの保護者に、当時を振り返り小学6年生の段階から中学進学に向けた相談や情報収集を始めていた方が良かったと思うかと聞いたところ、約7割（73.7%）が「とてもそう思う」「そう思う」と回答しました。中学進学を迎える前の小学6年生の段階から、進学を見据えた相談や情報収集を始めることの重要性を感じている保護者が多いことがわかりました。



4) フリースクール利用をためらう理由は「本人の意向」と「費用面」

不登校・行き渋り傾向のある小学4～6年生の子どもを持つ保護者のうち、フリースクールを検討したものの利用しなかった理由を聞いたところ、「本人が行きたがらない（49.6%）」が最も多くなりました。子ども自身の意思以外の要因としては「費用が高いと感じた（38.0%）」が最も多く、同率で「もう少し様子を見ようと思ったため（38.0%）」が続きました。



■ 調査概要

- 調査期間：2026年6月5日（金）～6月14日（日）
- 調査方法：インターネットアンケート調査
- 調査対象：

<パネル①>

現在小学4～6年生で、不登校状態または行き渋り傾向のある子どもの保護者（n=461、うち小学6年生 n=139）

<パネル②>

現在中学1～3年生で、小学6年生時に不登校または行き渋り傾向があった子どもの保護者（n=545）

※パネル①・②は、ベネッセの保護者向けアプリ「進研ゼミ 保護者サポート（旧まなびの手帳）」、ベネッセ教育情報サイト「不登校ライフナビ」、「ベネッセ高等学院」に関心をお寄せいただいた保護者を対象に実施。パネル②には「ベネッセ高等学院 中等部」に通う生徒の保護者を含む。